

## 書面会議による審議会等の開催結果

### 1. 審議会名

令和2年度第1回石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議

### 2. 書面会議とする理由

新型コロナウイルス感染拡大防止のため

### 3. 協議期間

令和2年10月26日から令和2年11月6日まで

### 4. 会議参加者

- (1) 委員長 藏崎 正明 委員
- (2) 副委員長 本吉 俊一 委員
- (3) 秋山 雅行 委員
- (4) 石井 一英 委員
- (5) 加藤 泰博 委員
- (6) 長谷川 和男 委員
- (7) 篠原 昇 委員
- (8) 高橋 祐二 委員
- (9) 浅水 康男 委員
- (10) 小山 玲子 委員
- (11) 柴田 志寿子 委員
- (12) 吉田 美香 委員
- (13) 大内 さつき 委員
- (14) 大川 里織 委員
- (15) 原 つぐみ 委員

### 5. 議題事項

#### (1) 令和元年度石狩市北石狩衛生センター処理状況について

##### ◎出された意見・質問等

1. 資料3ページから6ページ内の全水銀濃度についてですが、廃棄物処理施設の基準値は  $50 \mu\text{g}/\text{m}^3$  ですが、大気中の健康影響を考えた指針の濃度は  $40 \text{ng}/\text{m}^3$  と低い濃度に設定されていることから、近隣への影響をどのように考えておられますか。  
また、それぞれ水銀が増えた理由は何かありますか。
2. 資料-③において、年2回の自主測定を行っていますが、排出基準が示されていない(ダ

イオキシシキ類以外) ため、結果の数字をどのようにとらえてよいのかわかりづらいつ思  
いますので、一覧表などで基準値を示してはかがでしようか。

◎意見・質問等の回答

1. 水銀大気排出規制に関する大気汚染防止法の改正に伴い、当施設でも定期的に水銀濃度  
の測定を行ってあります。

水銀濃度につきましては、水銀大気排出規制に関する大気汚染防止法の改正に伴い、当  
施設でも定期的に測定を行っており、排出基準値「50  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下」を十分に満たす結果  
となっており、周辺環境における大気環境モニタリングは実施してはませんが、健康  
リスクの低減を図るための指針値「年平均値 40  $\text{ngHg}/\text{m}^3$ 以下」を定めた際の中央審議会  
答申資料では、2001 年度のモニタリング調査結果から「沿道で若干高い傾向を示すが、  
地点の属性による違いは小さい。」としていることから、基本的には大気汚染防止法の排  
出基準値を遵守する中で、周辺環境の保全も図られるものと考えてあります。

しかしながら、現状に満足せず、これからも測定結果等については注視し、継続して市  
民には水銀使用製品の排出方法など広報等を通じて、呼びかける必要があると考えてあ  
ります。

また水銀が増えたという質問に関しては、測定する際の条件（ごみ質）などが安定して  
いるわけではありませので、測定数値の高い、低いという幅はあると思つます。引き  
続き測定結果については注視してまいります。

地域分類別の水銀の有害大気汚染物質モニタリング調査結果：2001 年度 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )

	地点数	平均	最小	最大
全地区	281	2.3	0.22	6.0
一般環境	197	2.2	0.22	4.3
沿道	33	2.6	0.83	6.0
発生源周辺	51	2.4	0.45	4.1

(出典：今後の有害大気汚染物質対策のあり方について (第七次答申) 平成 15 年 7 月 31 日中央環境審議会 別添 2-3 水銀に係る健康リスク評価について)

2. ご教示いただきありがとうございます。今後の資料作成の際に、参考にさせていただきます。

(2) 令和元年度石狩市北石狩衛生センター運営におけるモニタリング実施状況について (下半期分)

◎出された意見・質問等

1. ボイラー等の破損や他の設備の故障等が散見されますが、この頻度は例年通りなのでし  
ょうか。他年と比べて増加傾向にあるとしたら対策等は立てておられるのでしようか。

2. ごみピット内の小火もいくつか見られますが、1月はリチウムイオン電池の出火によるものと特定されていますが、10月と2月の小火については原因不明ということでしょうか。
3. 資料④のモニタリング評価結果において、トピックやコメントにより具体的な事例が示されており、専門的な部分もありますが、大変参考となる情報と考えます。計画対応以外に緊急対応も多いようですが、迅速に対応できていると思われます。緊急対応の事例につきましては、12月2日の事例「No.1 破砕物コンベヤ従動軸ベアリング破損。12月3日に交換」などのように、原因とその対応状況についてセットで表記していただくと、より分かりやすくなると思います。
4. 資料④において、3月18日に「飛灰コンプレッサー故障のため、消火運転を実施」とありますが、飛灰コンプレッサーとはどのようなものでしょうか。また、消火運転を実施とは、燃焼を停止させたということでしょうか。燃焼を停止させたのであれば、停止期間、故障部分対応状況などの情報があつたほうが良いかと思えます。

◎意見・質問等の回答

1. 北石狩衛生センターは竣工から25年以上経過した施設であり、ボイラーに限らず、その他設備でも故障等が多くなってきているのが現状ですが、市内のごみ処理が滞ることがないように、運営に関する委託会社である石狩三友メンテナンス(株)であらゆる設備機器の定期修繕等を行っております。
2. 10月と2月の小火については原因の特定に到らなかったですが、おそらくリチウムイオン電池等が出火原因と思われますので、引き続き、排出方法について広報等で呼びかけていきます。
3. モニタリング評価内のトピック等の内容の記載については、今後はよりわかりやすく記載するよう努めます。
4. 飛灰コンプレッサーとは、飛灰への薬剤散布をする際に使用する機器です。また、消火運転実施とは、焼却炉の運転を停止したということです。この件に限らず、トピックに関してはより詳しくわかりやすい記載をするよう努めます。

(3) その他

◎出された意見・質問等

1. 別冊資料のなかで、平成28年度からのごみ総量を見ますと一般家庭ごみは減少傾向にありますが、事業系ごみは増加傾向にあるように思えます。



これは石狩市内の事業所が増加していると解釈していいのでしょうか。

また、し尿処理量も減少していますが、これは石狩市の各地区の人口減によるものでしょうか。

2. 別冊資料に各年度の最終処分量の割合が記されていますが、各年度の最終処分量は最終処分場全体容量のどのくらいにあたり、現状でいけば何年後に満杯になると予想されますか。
3. 作業員管理の観点から、ごみの収集、処理、リサイクル過程でのコロナ対策について教えてください。

#### ◎意見・質問等の回答

1. 石狩市新港区域に関しては、操業企業数が増加傾向にありますので、事業系ごみの増加に少なからず影響していると考えられます。  
また、し尿処理量の減少については、人口減も影響していると思いますが、水洗化世帯の増加も、し尿処理量の減少に関係していると思われます。
2. 例年、覆土量を含み、約4,000 m<sup>3</sup>を埋立てしております。最終処分場の容積は194,000 m<sup>3</sup>ですので、全体の2%ほどにあたります。  
埋立量については、ごみ処理量の変化によって増減はありますが、現在の処分場残余容積からの単純な計算になってしまいますが、約15年後には、満杯になると予想されます。
3. コロナ対策といたしまして、各収集業者に対し、感染予防対策のためマスク、アルコール消毒液を石狩市より配布致しました。  
各収集業者でも独自のコロナ対策を行っていると報告を受けております。  
また、市のごみ処理施設であります北石狩衛生センターについては、ごみ収集車、自己搬入者等不特定多数の来場者が来られることから、受付対応職員においてはビニールシート越しでマスク着用での対応、金銭の受け渡しについてはトレイを使っての対応しており、受入対応職員については、マスク着用、防護服着用のうえ対応しております。  
リサイクルプラザについてもコロナ対策のマニュアルを作成し、感染予防対策をとっております。

書面会議開催結果を確認しました。

令和 2 年 12 月 10 日

石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議

委員長 蔵 崎 正 明

